

当社（ダイヤ工業）が2013年に創業50年を迎えたのを機に翌年、新社屋「ロコステ」を落成した。名称はロコモティブ・ステーション（運動器を中心とした健康な体づくりのための総合施設）の略である。本社機能と自社製品ショールームのほか、フィットネスクラブやヘルシー志向のカフェも併設し、健康な体づくりの拠点を目指した。

おかげさまで地域の方々にも好評をもって迎えられ、社員にとっても市民の皆さんとの貴重な交流の場になっているようだ。当社は「運動器のサポートを通じて健康寿命の延伸に寄与する」ことを使命に掲げているが、ロコステを通じて、その具体化に少しでも近づけることを願っている。

「健康寿命」という言葉も最近はずいぶん一般的になってきた。

日本の平均寿命は延びているが、一人で支障なく日常生活を過ごせる健康寿命との差は、男性で約9

松尾 正男

企業家
代表理事
小企業
中代表
岡山県
同友会

健康寿命

年、女性で約12年ともいわれる。私も今年はいわゆる前期高齢者の仲間入りだ。願わくは健康寿命を全うしたいものである。

人間に寿命があるように企業にも寿命がある。それを左右するのは「人」だ。特に中小企業では経営者の考え方が大きく影響する。何のために経営するのか、何を目的にこの事業を行うのか。経営者はその明確な理由を示し、社員との信頼関係を構築することが事業を継続する最大の源泉だ。人は外部から「変える」ことはできないが、自らの意思で「変わる」ことはできる。自ら変化し続けることによって間断なく前進するということ強い意思と、それを確実に実践する力が企業の命運を握る。

つい先日、素晴らしい理念を掲げていた有名企業の不祥事が報道されていた。持続させるのも、壊すのも経営者だ。体も企業も健康でありたい。

一日一題